

地域公共交通に関する用語

●地域公共交通

地域住民の日常生活や社会生活における移動、また、観光旅客その他の地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のこと。

●公共交通空白地域

鉄道やバスなどの公共交通を利用することが困難なエリアのこと。一般的には、バス停から半径300～500m程度の範囲からはずれるエリアを公共交通空白地域としている例が多い。

●コミュニティバス

地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停の位置等を工夫したバスサービス。意味としては、乗合バスによる運行や自家用車による市町村運営有償運送。

●乗合バス（4条）

正式には一般乗合旅客自動車運送事業といい、主に路線を定めて定期に運行する自動車により不特定多数の旅客を乗り合わせて運送する事業のことで、道路運送法による事業の経営許可、運賃・料金の認可・届出等が必要である。“緑ナンバー”の車両を使用して旅客の運送を行うこと。

乗合バスには、一般の路線バスや長距離高速バスなどがある。

●自家用有償旅客運送（79条）

地域住民の生活に必要な旅客輸送を確保するために、市町村自らが保有する“白ナンバー”の車両を使用して旅客の運送を行うこと。（市町村運営有償運送）

●デマンド交通

「デマンド」とは要望のことで、乗客から事前に連絡（予約）を受けて、基本となる路線以外の停留所に立ち寄ったり、運行を開始したりするなど、乗客の要望を運行に反映できる運行形態をいう。

●乗合タクシー

乗合バスのように乗合旅客を運送するタクシーで、車両の乗車定員は10人以下となる。定時定路線で運行する形態と、事前に予約を受けて運行するデマンド型等の形態がある。

●フリー乗降

バスや乗合タクシーの路線の全部もしくは一部の区間において、路線上の任意の場所で乗降できる制度で、乗車時にはバス等に向かって手を挙げるなどして合図する。なお、対象区間を「フリー乗降区間」などと呼ぶ。

●混乗化

児童・生徒や高齢者が利用することを目的としたスクールバスや福祉バスなど、利用者が限定されているバス等に、一般の利用者も乗ることができるようにすることで、既存交通資源の有効活用策の一つ。

●パーク＆ライド（P & R）

都心部等での道路交通混雑を避けるために、都市の郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法。

※平成 28 年 3 月 国土交通省九州運輸局「なるほど！！公共交通の勘どころ」より参照